

# まえがき

平成19年5月に内閣府が実施した「森林と生活に関する世論調査」で、「今後、森林のどのような働きを期待するか」の設問に「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」を挙げた者の割合が54.2%と最も高くなったことなど、森林の持つ公益的機能に対する期待や関心は高まっています。

一方、森林づくりを支える林業の情勢は依然として厳しい状況にあり、必要な手入れが行われないなど、森林の持つ多面的機能の発揮に支障が生じることが懸念されています。

このような現状を踏まえ、本県では、森林を荒廃から守り、健全な状態で将来の世代に引き継いでいくために、「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を制定し、従来からの森林・林業・木材産業振興施策に加え、平成18年度から導入した森林環境税を財源とした「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」に取り組んでいるところです。

本書は、本県の森林・林業・木材産業全般の現状、各種施策、事業の実績及び推移を平成18年度を中心に取りまとめたものです。

本書作成の意義をご理解いただき、関係各位が広く活用され今後の森林・林業・木材産業の発展のため役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本書を作成するにあたり、資料の提供についてご協力いただきました関係機関等に対し、厚くお礼申し上げます。

平成20年3月

福島県農林水産部長 木 戸 利 隆